



かつなりくん

かりや

K

市議会

だより

〈第165号〉

～刈谷市議会は、議会基本条例に基づき、「市民に開かれた議会」・「市民に信頼される議会」を目指して議会活性化に取り組んでいます～

3年ぶりの開催

『第39回刈谷市消防操法競技会』

—地域の安全のため、仕事や学業の傍らで消火訓練!訓練した成果を発揮—



—優勝は第3分団(元刈谷地区)—

主な記事	ページ
議決した議案	2～3
一般質問	4～7
4月臨時会	8

6月定例会のあらまし

この定例会は6月8日に招集され、会期17日間で6月24日に閉会しました。今回は議案など21件が提出されました。

◆6月8日 本会議
(議案の大綱説明)

◆10日 予算審査特別委員会
各分科会を設置

◆14日～17日 委員会、分科会
議案や陳情を審査及び採決

◆23日 予算審査特別委員会
予算議案を採決

◆24日 本会議(採決)
議案は全て原案可決

◆19人の議員による一般質問
(一般質問)

◆10日 本会議
(議案説明・審議、委員会付託)

◆6月8日～10日 本会議
市長による議案の大綱説明

◆6月8日 本会議
刈谷市土地開発公社経営状況についてなど6件の報告を了承

◆10日 本会議
人権擁護委員の候補者の推薦について異議ない旨答申

◆10日 本会議(採決)
令和4年度刈谷市一般会計補正予算(第3号)が追加上程され原案可決

◆10日 本会議(採決)
令和4年度刈谷市一般会計補正予算(第1号)を可決

◆10日 本会議(採決)
刈谷市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部改正についてなど9議案を関係する委員会に付託

◆10日 本会議(採決)
令和4年度刈谷市一般会計補正予算(第2号)など2議案を予算審査特別委員会に付託

◆10日 本会議(採決)
刈谷市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部改正についてなど9議案を関係する委員会に付託

◆10日 本会議(採決)
令和4年度刈谷市一般会計補正予算(第2号)など2議案を予算審査特別委員会に付託

◆10日 本会議(採決)
刈谷市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部改正についてなど9議案を関係する委員会に付託

◆10日 本会議(採決)
令和4年度刈谷市一般会計補正予算(第2号)など2議案を予算審査特別委員会に付託

◆10日 本会議(採決)
刈谷市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部改正についてなど9議案を関係する委員会に付託

◆10日 本会議(採決)
令和4年度刈谷市一般会計補正予算(第2号)など2議案を予算審査特別委員会に付託

8月臨時会の開催予定

8月5日(金) 本会議

9月定例会の開催予定

8月19日(金) 議会運営委員会(運営を協議)

31日(水) 本会議(開会、一般質問など)

9月1日(木) 本会議(一般質問など)

2日(金) 本会議(一般質問、議案説明など)

決算審査特別委員会、予算審査特別委員会

6日(火) 企画総務委員会

7日(水) 福祉産業委員会

8日(木) 建設委員会

9日(金) 市民文教委員会

21日(水) 決算審査特別委員会、予算審査特別委員会

議会運営委員会(運営を協議)

22日(木) 本会議(委員長報告、採決など)

各会議は10時から17時まで(進行状況などにより、変更する場合があります)。傍聴の際は、当日次の受付へ。

本会議：市役所10階、傍聴受付

委員会：市役所9階、議会事務局受付

○託児を希望される方へ(生後6か月以上の未就学児、先着順)

臨時保育室「カンガルールーム」を御利用いただけます。

傍聴希望日の1週間前までに議会事務局へ御連絡ください。

○手話通訳・要約筆記を希望される方へ

傍聴希望日の1週間前までに議会事務局へ御連絡ください。

○一般質問KATCH放送(地上デジタル112チャンネル)

9月5日(月)、6日(火)、9日(金)でいずれも10時から。

詳しくはチャンネルガイドを御覧ください。



傍聴者は延べ88人



主な議案

6月定例会

(要約して掲載しています)

報告案件

令和3年度刈谷市一般会計継続費の繰越しについて

継続費とは、数年度にわたり予算を支出するもので、完了までに期間を要する事業に適用します。

経費の総額や年割額はあらかじめ決められていますが、事業の進行状況により、順次繰り越して支出します。

- ・双葉保育園大規模改造事業
- ・ウイングデツキ整備事業
- ・岩ヶ池公園整備事業
- ・住吉小学校擁壁改修事業
- ・市民休暇村大規模改造事業

継続費の総額
26億153万4千円

令和4年度への繰越額
6億6,410万2千円

令和3年度刈谷市一般会計繰越明許費の繰越しについて

繰越明許費とは、天候不順、交渉の不調などにより事業の完了が遅れるような場合など、翌年度に限り予算を繰り越して支出できるものです。

- ・一般事務費事業
- ・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業
- ・新生児おむつ臨時助成事業
- ・道路補修事業
- ・JR刈谷駅総合改善事業
- ・魅力あふれる公園づくり事業
- ・体育館空調設備整備事業
- ・ICT教育事業
- ・中央図書館学習環境整備事業

繰越総額
43億1,872万5千円

条例議案

刈谷市国民健康保険条例の一部改正について

課税限度額を超過する世帯の割合が1.5%となるようにするという基準があるが詳細は。

企業は健康保険組合などでは、標準報酬月額の高等級に該当する被保険者の割合が全体の1.5%以下となるように定められている。国民健康保険には、標準報酬月額の考え方はなく、この規定が適用されるわけではないが、国の方針として、他の健康保険制度とのバランスを考慮し、同様に課税限度額を超過する世帯の割合を1.5%に近づけるよう、段階的に課税限度額を引き上げることとされている。

課税限度額が上がるということは中間層の税額も上がるということか。

今回の改正は、現在の基準で既に課税限度額に達している世帯の税額が最大3万円上がるものであり、その他の加入世帯への影響はない。

区分	改正前	改正後
基礎課税額	63万円	65万円
後期高齢者支援金等課税額	19万円	20万円

課税限度額の改正内容
(令和5年4月1日から施行)

補正予算議案

6月10日の本会議において子育て世帯生活支援特別給付金支給事業などに関する令和4年度一般会計補正予算議案(第1号)を原案のとおり可決しました。

次に、令和4年度補正予算関係2議案を全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、関係する分科会で審査しました。

6月23日に再度予算審査特別委員会を開催し、各分科会での審査結果について各委員長から報告を受け、24日の本会議においていずれも原案のとおり可決しました。また、同日、明治用水頭首工大規模漏水事故見舞金支給事業などに関する令和4年度一般会計補正予算議案(第3号)が追加上程され、原案のとおり可決しました。

補正する額(一般会計)
▲10億604万6千円

補正後の予算総額(一般会計)
609億9,395万4千円

補正後の予算総額(全会計)
952億4,097万円

【主な事業】

市民生活支援事業

原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰等に直面している市民や事業者を支援するため、水道料金のうち基本料金を6か月分免除します。

7月、9月及び11月検針分(5月から10月までの使用分)

【南部地域】
8月、10月及び12月検針分(6月から11月までの使用分)

一世帯当たりの支援額は、家庭用として多く使用されている口径20ミリメートルの場合、水道料金の基本料金は2か月に1回の請求で1,672円となるため、6か月分で5,016円の免除となる。

市民へはどのように広報していくのか。

市のホームページ、市民だよりのほか、検針票及びチラシを利用して、水道料金の基本料免除により物価の高騰に直面する市民の皆様の経済的負担を軽減し、生活支援を実施していくことを伝えていきたいと考えている。

新生児・乳幼児おむつ臨時助成事業

原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰等に直面している子育て世帯に対し、経済的負担の軽減を図るため、おむつ費用助成利用券を交付します。

令和2年4月1日から令和5年3月31日までに生まれた新生児

人権擁護委員の候補者の推薦について
令和4年9月30日の任期満了に伴い、推薦することに異議ない旨答申しました。(任期3年)

推薦すること異議ない旨答申しました。(任期3年)

かみや ともこ (3期目) 宝町

つづき 智子 氏 (2期目) 元町

やましろ 楓 氏 (1期目) 小垣江町

英司 氏 (1期目) 小垣江町

乳幼児を養育する親

【助成額】
新生児・乳幼児1人につき
5,000円

陳情の結果

今回市民の皆さん等から提出された陳情6件は、関係する委員会でも審査した結果、1件が採択、5件が不採択となりました。

採択された陳情に伴う意見書は本会議最終日に全会一致で可決し、関係機関に送付しました。

【採択】
シルバー人材センターに対する支援を求める陳情

【不採択】
消費税率5%への引き下げと

大企業や富裕層への適正な課税、インボイス制度の中止を求める意見書の提出を求める陳情

地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情

最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出を求める陳情

直ちに1日8時間働けば人間らしく暮らせる社会を実現するとともに、1日7時間労働制をめざすことを求める意見書の提出を求める陳情

「1年単位の變形労働時間制」導入のための条例制定ではなく、教職員の長時間過密労働解消のための施策を求める意見書の提出を求める陳情

シルバー人材センター(以下「センター」という)は、高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき設立された公的団体であり、地域の日常生活に密着した就業機会を提供することなどにより、高齢者の社会参加を促進し、高齢者の生きがいの充実、健康の保持増進、ひいては地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減などに貢献している。

令和5年10月に、消費税において適格請求書等保存方式、いわゆるインボイス制度が導入される予定となっているが、同制度が導入されると、免税事業者であるセンターの会員はインボイスを発行することができないことから、センターは仕入税額控除ができなくなり、新たに預かり消費税分を納税する必要がある。しかし、公益法人であるセンターの運営は収支相償が原則であり、新たな税負担の財源はなく、センターにとっては、新たな税負担はまさに運営上の死活問題である。

一方、人生100年時代を迎え、国を挙げて生涯現役社会の実現が求められる中、報酬よりも社会参加・健康維持に重きを置いた「いきがい就業」をしているセンターの会員に対して、形式的に個人事業者であることをもって、インボイス制度をそのまま適用することは、地域社会に貢献しようとする高齢者のやる気、生きがいを削ぎ、ひいては地域社会の活力低下をもたらすものと懸念される。

よって、国におかれては、インボイス制度の導入に当たり、センター事業の安定的な事業運営が可能となる措置を強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
令和4年6月24日
刈谷市議会

議決結果一覧表

(※)：賛否が分かれたもの

・刈谷市土地開発公社経営状況について	了承
・令和3年度刈谷市一般会計継続費の繰越しについて	了承
・令和3年度刈谷市一般会計繰越明許費の繰越しについて	了承
・令和3年度刈谷市一般会計事故繰越しの繰越しについて	了承
・令和3年度刈谷市水道事業会計予算の繰越しについて	了承
・令和3年度刈谷市下水道事業会計予算の繰越しについて	了承
・令和3年度刈谷市下水道事業会計予算の繰越しについて	了承
・人権擁護委員の候補者の推薦について	異議ない旨答申
・令和4年度刈谷市一般会計補正予算(第1号)	可決
【企画総務委員会関係・1議案】	
・刈谷市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部改正について(※)	可決
【福祉産業委員会関係・1議案】	
・刈谷市国民健康保険条例の一部改正について(※)	可決
【建設委員会関係・3議案】	
・工事委託協定の締結について(市道01-40号線道路新設改良工事)	全て可決
・訴えの提起について(市営住宅明渡し等請求事件)	(※)
・刈谷市高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な市道の構造に関する基準を定める条例の一部改正について	全て可決
【市民文教委員会関係・4議案】	
・工事請負契約の締結について(富士松南小学校体育館改築(建築)工事)	全て可決
・工事請負契約の締結について(亀城小学校他3校体育館空調設備設置工事)	
・工事請負契約の締結について(双葉小学校他3校体育館空調設備設置工事)	
・工事請負契約の締結について(小垣江小学校他2校体育館空調設備設置工事)	
【予算審査特別委員会関係・2議案】	
・令和4年度刈谷市一般会計補正予算(第2号)	全て可決
・令和4年度刈谷市水道事業会計補正予算(第1号)	
【追加上程・1議案】	
・令和4年度刈谷市一般会計補正予算(第3号)	可決
【議員提出議案・1議案】	
・シルバー人材センターに対する支援を求める意見書	可決

6月定例会提出議案の賛否

賛否が分かれたものについて掲載します。(○：賛成 ×：反対)

議案名及び議決結果	自民クラブ							市民クラブ							公明クラブ		清風クラブ		無所属の議員	日本共産党団		市民会	無所属	議長	副議長			
	加藤 幹樹	揚張 慎一	葛原 祐季	近藤 澄男	渡邊 妙美	清水 俊安	外山 敏一	山崎 高晴	深谷 英貴	中嶋 祥元	佐原 充恭	伊藤 幸弘	黒川 智明	鈴木 浩二	谷口 陸生	松永 寿	白土美恵子	上田 昌哉	新海 真規	星野 雅春	鈴木 絹男	蜂須賀信明	牛田 清博	山本シモ子	城内 志津	稲垣 雅弘	加藤 廣行	鈴木 正人
刈谷市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
刈谷市国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
訴えの提起について(市営住宅明渡し等請求事件)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○

委員会の動き

委員会では、議案、陳情の審査のほか、主に次のことについて、質問などがありました。

企画総務委員会

市の犯罪情勢と対策

問 最近の犯罪の状況について昨年比は。

答 昨年との比較では侵入盗約5割減、自動車関連窃盗約2割減、特殊詐欺約3割減などとなっている。

問 犯罪が減少傾向となっている理由はなぜか。

答 偽電話詐欺などの特殊詐欺の被害防止に効果のある不審電話防止装置の普及促進を図ってきたほか、街頭防犯カメラを多数設置していることにより、市全体の犯罪抑止力が向上しているのが要因と考えている。その他「自主防災活動への支援」などがありました。

福祉産業委員会

ボトルのボトル事業

問 ペットボトルの処理方法が従来の方法から変更があったようだがどのような変更内容か。

答 これまで家庭から回収したペットボトルは、最終的に焼却等により処分される繊維や食品トレイにリサイクルされていた。ボトルのボトル事業により回収したペットボトルを全て原料として再生。ペットボトルに製造することで、水平リサイクルとなり、環境負荷低減に大きく貢献できるようになる。

その他「産業イノベーション推進事業」「明治用水頭首工漏水被害」「有機農業」などがありました。

建設委員会

刈谷駅北口周辺地区の都市計画決定・変更

問 駅前拠点開発推進地区のうち、対象区域としなかった区域の容積率緩和は考えているか。

答 民間再開発の機運の高まりを見据えた上で検討する。

問 刈谷駅周辺のにぎわいづくりの取組は。

答 地域主体のまちづくり意識の醸成及び担い手の発掘を目的に、大学との共同による市民参加型の会議を開催する。また、オープンカフェなどのイベントを開催したいと考えている。

その他「豊田町地区の都市計画変更」「JR刈谷駅総合改善事業」などがありました。

市民文教委員会

デジタル教科書の活用法

問 デジタル教科書の利点は。答 文字や背景の色を変えることや文字や図を拡大して表示することが容易にでき、色覚異常や視覚に障害のある子供にとつて視認しやすい点である。

問 デジタル教科書の予算化に向けての考えは。

答 現在、紙の教科書は国が無償で提供しているが、デジタル教科書は利用者が原則負担することとなっている。今後は、国の動向を踏まえながら、調査研究をしていく。

その他「認定保育園の安定的運営」「学校給食」などがありました。

一般質問

市政のつとめを問う

この定例会では6月8日～10日の3日間で、19人が登壇し42項目にわたり、市政について一般質問が行われました。主な項目について要約し、掲載します。

質問項目（発言順） ※：掲載した項目

- 中嶋 祥元 議員 ※1 (仮称)逢妻川河川敷運動広場整備事業について
- 黒川 智明 議員 ※1 刈谷市の環境施策について
- 渡邊 妙美 議員 ※1 子育て支援について
- 山本 シモ子 議員 ※1 諸物価高騰への生活応援施策について
- ※2 インボイス制度による事業者影響の見解について
- ※3 平和を堅持する市政運営について
- 揚 張 慎一 議員 ※1 保育園の待機児童について
- ※2 市内のごみ問題について
- 外山 鉦一 議員 ※1 市道02-14号線全線開通に伴う課題について
- 鈴木 絹男 議員 ※1 水源浄水場について
- ※2 空き家対策について
- 伊藤 幸弘 議員 ※1 空き家の適正管理と発生抑制について
- ※2 公共施設のトイレ洋式化について
- 白土 美恵子 議員 ※1 水道管の漏水対策について
- ※2 健康施策について
- 牛田 清博 議員 ※1 物価高騰から市民の暮らしを守る市政について
- ※2 中高一貫校の検討について
- ※3 ジェンダー平等社会の実現について
- 鈴木 浩二 議員 ※1 雨水対策マスタープランについて
- ※2 認知症介護への取組について
- 新海 真規 議員 ※1 PTAについて
- ※2 「書かない窓口」について
- ※3 刈谷市駅前地区再開発事業について
- 稲垣 雅弘 議員 ※1 工都刈谷市の誇りと愛着のもてるまちづくりについて
- 佐原 充恭 議員 ※1 交通安全の新たな方策について
- ※2 避難所の案内看板について
- ※3 モビリティを軸とした脱炭素化について

質問・答弁がホームページから御覧になれます。「刈谷市議会」で検索し、「議会映像を見る」をクリックしてください。



中嶋 祥元 議員

魅力ある(仮称)逢妻川河川敷運動広場の整備を!!
—利用者も少しでも快適に利用できるよう検討をしていく—

問 (仮称)逢妻川河川敷運動広場の整備内容は、

答 令和4年度に工事完了予定の県の逢妻川洪水調節地の上部に整備する計画であり、サッカー場と多目的広場をそれぞれ1面と駐車場を整備する予定である。

問 河川敷の上部利用は、構造物の設置が困難と認識しているが、その基本的考え方は、

答 構造物を設置する場合、「河川占用許可」が必要である。許可基準では、トイレやベンチなどの工作物は、原則「可搬式又は転倒式の構造とすること」と規定されている。

問 多目的トイレ、熱中症対策のベンチ及びあずまの設置

黒川 智明 議員

ゼロカーボンシティに向けた取組を!!
—脱炭素の重要性を再認識し、幅広く取組を進めていく—

問 刈谷市のゼロカーボンシティを推進する上での課題は、

答 国連の気候変動に関する政府間パネルが4月に公表した第6次報告書では、温室効果ガス削減強化に一刻の猶予もないことが示された。地球環境の現状を市民が自分事と捉え、行政、事業者などとともに、脱炭素の取組を進めていくことが重要であると考える。

問 本市のCO₂排出量を残り8年間で46%削減し、2050年までに実質ゼロとするための市の取組は、

答 今年度から2年かけて改定する刈谷市環境都市アクションプランに取組を示していく。事業者との協定を締結したボトルtoボトルの取組とは、



クリーンセンターで発電した電力を公共施設に供給し、脱炭素化を推進

問 市内の家庭から出たペットボトルを市が回収し、ペットボトルとして再生して国内流通させる取組となっており、資源循環することで約500トンのCO₂排出量を削減できる効果が期待できる。

問 本市が出資する地域新電力会社は、クリーンセンターで発電した電力を公共施設に供給

し、エネルギーの地産地消による脱炭素化を推進する予定だが、この事業を拡充する考えは、
答 将来的にはさらに地産地消を進めるため、太陽光発電の設置などにより、再生可能エネルギー量を確保し、エネルギー活用について検討していく。

渡邊 妙美 議員

多胎児の出産や育児に不安を抱えている家庭に支援を!!
—各種サービスの活用を案内していく—

問 多胎児を出産・育児する家庭は不安や心配事が多いと思うがどのような支援があるのか、

答 多胎児を養育する家庭に対し、申請により多胎児養育費支援金を支給している。また、多胎児を養育する保護者に対し、希望により健診時にサポーターを派遣し、子供の面倒や荷物を運ぶなどの手伝いを行っている。

問 令和3年度から始まった健診時サポーター派遣事業について、多胎家庭からどのような声が挙がっているか、

答 健診サポーター利用時にアンケートを行っており「優しく子供に寄り添ってくれて助かった」「同じ双子を育てた大先輩の話を聞くことができ、とても心強くなりがあった」といった感謝の声を多く聞いている。

問 多胎児サークルの活動内容は、

答 月1回程度、子育て支援

山本 シモ子 議員

インボイス制度の問題点に正面から向き合おう!!
—国の動向等を注視して対応していく—

問 2023年10月から導入するという消費税インボイス制度は、売上げが1,000万円までの消費税の免税業者からも消費税を納税させるといふものである。中小個人事業者にとって、暮らしを苦しめる制度であると考えられる。全国各地で中止を求める運動が広がっている。市の認識は、

答 消費税の軽減税率制度の



保護者と保健師の面談中にお子さんと遊ぶ健診サポーター

センターで先輩ママから話を聞いたり、互いに悩みを話し合ったりする場を設けている。また、メンバー同士で連絡を取り合うことができ、ベビーカーを譲ってもらうなど、精神的な支援以外にも支えになっている。

問 多胎家庭の外出支援が必要だと考えるが、見解は、

答 普段の外出や予防接種などに出かけることも大変であるとされており、健診受診時のサポーター派遣のほか、各種サービスの活用を案内している。

導入により、事業者は、標準税率10%と軽減税率8%に分けた納税事務が必要になる。インボイスには消費税率や消費税額が記載されるため、売手は納税が必要で消費税率を受け取り、買手は納税額から控除される消費税額を支払うという対応関係が明確となり、正確な税額計算や事業者間の税負担の公平性を確保することができると考えてい

蜂須賀 信明 議員

- 1 安全な道路管理について
- 2 公園・幹線道路での樹木管理について
- ※3 通学路の安全性について

城内 志津 議員

- 1 新型コロナウイルスに関する適切な情報公開について
- 2 犬猫の殺処分ゼロを目指すことについて
- 3 教職員の働き方改革について

上田 昌哉 議員

- 1 刈谷市の経済対策について
- ※2 子どもの特別支援について
- 3 看護小規模多機能型居宅介護について

星野 雅春 議員

- ※1 魅力あるまちづくりについて
- 2 指定管理者について
- 3 緊急小口資金等について

谷口 睦生 議員

- 1 環境を考慮した学校施設の整備推進について
- 2 物価高騰に対する対応について
- ※3 ヤングケアラーへの支援について

谷口 睦生 議員

問 シルバー人材センターの

会員の多くは高齢者であり、就労の対価は僅かであるが、シルバー人材センターの会員数は、令和2年度が521人、3年度が528人である。

問 シルバー人材センターから

支援を求める陳情が提出されているが、市内業者の営業と暮らしを守る立場に立ち、中止を求める意見書を国に対して上げるべき。市の考えは。

揚張 慎一 議員

情報の確に把握しながら、保育ニーズに沿った保育施策を!!

— 国の施策や地域の動向を注視し、適切に対応していく —

問 令和4年を含む過去3年の

待機児童の人数は。 答 いずれの年も4月1日時点で、令和2年は11人、3年は4人、4年はゼロ人である。待機児童は令和3年度まで継続して発生していたが、令和4年4月をもってゼロ人となった。

問 待機児童解消に向け、本

市を取り巻く背景を踏まえながら、どのような取組を行ってき



多くの取組を実施し、待機児童はゼロ人に

たのか。

問 重原幼稚園を廃止し、民間

答 インボイス制度について

は、全国的に議論をされている。国や他市の動向を注視していく。



インボイス制度案内リーフレット (国税庁ホームページ)

(主な答弁者・・・次世代育成部長)

保育園4園の乳児園化と公立幼稚園全園の幼児園化を行うこと

で、待機児童や入所保留者が多い0歳児から2歳児の受入園児数の拡大を図った。

問 埋立ごみの1日の受入れ

上限数が100キロというルールとなつているが、その根拠は。

答 家庭から出る土や石などは個人で処分することを想定しているため、上限を100キロとしている。また、事業者や事

外山 鉦一 議員

市道02-14号線全線開通に伴う課題の解決を!!

歩車分離が図られるよう両側歩道設置などの対策を実施する

問 全線開通に向けた整備の

進め方は。 答 令和3年6月議会において、補正予算を議決いただき、設計業務を進めているところである。令和4年度から排水路や用水路の付け替え工事を行った後に道路の築造工事に着手していく。基本的に農閑期での施工を予定しており、令和7年度末の完成を目指している。

問 全線開通により、交通環境や車の流れは想像以上に姿を

変えることになる。道路の規制を含めた交通安全対策は。

答 新規の道路整備に対する安全対策は、警察との協議により必要な対策を行っている。地区からの意見は要望書を提出していただき、必要に応じ対応を検討していく。通学路等の安全対策は、毎年実施している通学路学区内危険箇所改善要望調査

鈴木 絹男 議員

市水の安定供給のため水源浄水場の施設更新を迅速かつ着実に!!

— 基本設計の中で最適な発注方法や規模等を検討する —

問 今回の明治用水頭首工の大規模漏水で、改めて水の大切さを思い知らされた。水道施設

は、快適な市民生活や産業面での活動を支える上で重要な施設である。安定的に水を供給するためには、大地震が起きたとしても水源浄水場を常に動かし続



全線開通に向けて道路整備が始まる市道02-14号線

(主な答弁者・・・水資源部長)

業活動で生じた土や石などが不燃物埋立場に搬入されることを防ぐことも考慮している。

問 ごみ集積場の設置ルール

はどのようになっているか。 答 可燃ごみは10から20世帯につき1か所、資源ごみと不燃ごみは20から30世帯につき1か所を目安としている。所定の置場まで持ち出すことが困難な高齢者等の方には、個々に収集のサービスを実施している。

(主な答弁者・・・建設部長)

市道02-14号線全線開通に伴う課題の解決を!!

歩車分離が図られるよう両側歩道設置などの対策を実施する

問 豪雨のたびに冠水してい

る新幹線高架下道路の対策は。 答 冠水対策として雨水貯留施設の整備を検討していく。 問 今後に向けた市道02-14号線の延伸計画は。 答 今年度末に、刈谷市総合運動公園の北側の一部区域を含めた将来構想が策定されるため、策定後に具体的な整備計画を立案する。まずは逢妻橋北交差点から国道23号までの整備に向けた検討を進めていきたい。

けていく必要があると考える。

しかし、老朽化が進み、耐震基準を満たしていない施設もあると聞いている。令和3年度に策定された刈谷市水道事業ビジョンでは、施設の更新を行うとの計画が示されたがその内容は。

答 管理棟以外の施設は耐震基準を満たしておらず建て直す必要があるため、新たに取得する隣接地に新設を計画している。 問 施設更新のスケジュールは。 答 令和4年度は、浄水処理方法や施設配置などの検討のための基本設計を実施し、5年度以降は、官民連携手法を取り入れた発注方法を検討するとともに、プロポーザルにより施工業

伊藤 幸弘 議員

公共施設トイレの洋式化をさらに推し進め快適なまちづくりを!!

機能性や快適性の向上を目指し、計画的かつ柔軟な改修を推進

問 国土交通省が行ったアンケート「外出先のトイレで洋式・和式のどちらを好んで利用しますか」の問いでは、8割が洋式

となっているが本市の公共施設のトイレ洋式化の現状は。

答 公共施設維持保全計画の対象になっている147施設のトイレ洋式化率は73%となっている。各トイレに洋式が1基以上設置されていることから、洋式化は概ね完了していると認識している。

問 公共施設のトイレ改修は、基本的には施設の大規模改修時に合わせて実施していると聞いている。大規模改修が今後5年以降となる施設について、トイレ改修のみを実施する考えは。

答 今後5年以内に大規模改修を予定しているのは10施設である。それ以降の施設については、施設管理者からの要望など

者を決定し、12年度までに施設更新を完了する予定である。

問 災害時やコスト面を考慮し、施設を大きくすることも考えられるが、施設規模をどのようにするのか。

答 令和4年度に実施する基本設計において、今後の給水人口や水道水の利用状況などを考慮し、最適な規模になるよう検討していく。



施設更新を予定している水源浄水場



多様な利用者に配慮したトイレの整備を

白土 美恵子 議員

AIや人工衛星を活用した漏水対策について前向きに検討を!!
—精度や費用対効果などを考慮し、活用について調査研究を進める—

問 刈谷市の配水管の総延長及び過去3年間の漏水件数は。

答 配水管の総延長は、令和3年度末時点で約801キロメートルである。配水管の漏水件数は、令和元年度21件、2年度20件、3年度21件である。

問 水道管の漏水は、断水にもつながるため、未然に防ぐ必要がある。漏水調査の方法は。

答 水管橋や消火栓の点検時に管の状態を確認し、漏水の有無についても調査をしている。

問 老朽化した管路の布設替えの優先順位をどのように決定しているのか。

答 避難所や医療機関などの重要給水施設につながる管路を優先的に耐震管に更新をしてい

牛田 清博 議員

物価高騰による生活苦に対応し、学校給食費の軽減・無償化を
—給食費を値上げせず、質や栄養価を維持する—

問 パンに除草剤の成分が残留しているデータがあるが、学校給食では有機農産物の取扱いを増やすべきと考えるが見解は。

答 大量の食材を安定して確保できないことや調理作業の負担など課題が多く、効果や影響について研究をしている。

問 就学前の子供の国保税均等割額の減免を、子育て支援のために市独自で18歳まで引き上げるべきだと考えるが見解は。

答 国保会計は赤字状態であり、独自施策は実施できないが、法律の付帯決議でさらなる減額検討することも盛り込まれているため、国の動向を注視する。

問 刈谷高校も対象になっている公立の中高一貫校について、メリットとデメリットは。

答 計画的・継続的な教育指導が展開できる反面、受験競争の低年齢化や長期間同一メンバーであるために学習環境になじまない生徒が生じるおそれがある。

問 学校トイレに生理用品の設置をすべきと考えるが見解は。

答 保健室に来て相談する機会が減ってしまうことが考えられるため慎重に検討する。



安心・安全で栄養バランスのとれたおいしい学校給食を

(主な答弁者・・・教育部長)

計画的・継続的な教育指導が展開できる反面、受験競争の低年齢化や長期間同一メンバーであるために学習環境になじまない生徒が生じるおそれがある。

問 学校トイレに生理用品の設置をすべきと考えるが見解は。

答 保健室に来て相談する機会が減ってしまうことが考えられるため慎重に検討する。

問 計画的・継続的な教育指導が展開できる反面、受験競争の低年齢化や長期間同一メンバーであるために学習環境になじまない生徒が生じるおそれがある。

問 学校トイレに生理用品の設置をすべきと考えるが見解は。

答 保健室に来て相談する機会が減ってしまうことが考えられるため慎重に検討する。

問 計画的・継続的な教育指導が展開できる反面、受験競争の低年齢化や長期間同一メンバーであるために学習環境になじまない生徒が生じるおそれがある。

問 学校トイレに生理用品の設置をすべきと考えるが見解は。

問 パートナーシップ制度を導入した自治体は国民人口の52%になり、刈谷市も制定すべきと考えるが見解は。

鈴木 浩二 議員

豪雨被害を防ぐ雨水対策マスタープランの進捗管理の徹底を!!
—効果的で実効性の高いものとするため、適宜必要な見直しを検討している—

問 河川施設整備や下水道施設整備などのハード対策の進捗状況は。

答 河川施設整備で、準用河川草野川の5年確率降雨に対する改修事業を行っているほか、下水道施設整備で、吹戸川流域の貯留施設及びバイパス管路整備が完了している。また、流出抑制施設整備で、富士松東小学校のグラウンドを活用した表面貯留施設、洲原池の余水吐の改築による貯留施設の整備などが完了している。岩ヶ池の貯留施設の整備を進めており、今年度末の完成予定である。

問 雨水対策マスタープランでは、平成28年度からの30年間で、河川施設整備や下水道施設整備などのハード対策により著しい住宅の床上浸水被害をなくすことを目標としている。6年が過ぎ、対策予定54か所の内、進行中も含め完了は7か所である。

問 書かない窓口が全国的に急速に増加しているがどのような事例があるのか。

答 マイナンバーカードを利用し、申請書や届出書を自動作成する方法や事前に自宅でインターネットから手続をして、来庁時に二次元コードを提示することで申請書が自動作成される事例などがある。市民の方の記入に係る負担が軽減される反

問 国による法的な整備が望ましいと考えるため、国や県の動向等を注視しつつ人権が尊重されるまちづくりに努める。

進捗管理の方法は。

答 進捗管理は、10年ごとの短期、中期、長期で設定されている整備内容の実施状況及び貯留施設の目標対策量で行い、必要に応じ見直しを検討している。

問 河川の危機管理のために、水位計やカメラの設置を計画に追加することへの市の見解は。

答 河川情報を迅速に把握する有効な手段と認識している。市が管理する準用河川への設置の必要性を今後、調査研究する。

問 進捗管理の方法は。

答 進捗管理は、10年ごとの短期、中期、長期で設定されている整備内容の実施状況及び貯留施設の目標対策量で行い、必要に応じ見直しを検討している。

問 河川の危機管理のために、水位計やカメラの設置を計画に追加することへの市の見解は。

問 国による法的な整備が望ましいと考えるため、国や県の動向等を注視しつつ人権が尊重されるまちづくりに努める。

(主な答弁者・・・水資源部長)

進捗管理の方法は。

答 進捗管理は、10年ごとの短期、中期、長期で設定されている整備内容の実施状況及び貯留施設の目標対策量で行い、必要に応じ見直しを検討している。

問 河川の危機管理のために、水位計やカメラの設置を計画に追加することへの市の見解は。

答 河川情報を迅速に把握する有効な手段と認識している。市が管理する準用河川への設置の必要性を今後、調査研究する。

問 進捗管理の方法は。

答 進捗管理は、10年ごとの短期、中期、長期で設定されている整備内容の実施状況及び貯留施設の目標対策量で行い、必要に応じ見直しを検討している。

問 河川の危機管理のために、水位計やカメラの設置を計画に追加することへの市の見解は。

答 河川情報を迅速に把握する有効な手段と認識している。市が管理する準用河川への設置の必要性を今後、調査研究する。

問 進捗管理の方法は。

答 進捗管理は、10年ごとの短期、中期、長期で設定されている整備内容の実施状況及び貯留施設の目標対策量で行い、必要に応じ見直しを検討している。

問 河川の危機管理のために、水位計やカメラの設置を計画に追加することへの市の見解は。

答 河川情報を迅速に把握する有効な手段と認識している。市が管理する準用河川への設置の必要性を今後、調査研究する。

問 進捗管理の方法は。

答 進捗管理は、10年ごとの短期、中期、長期で設定されている整備内容の実施状況及び貯留施設の目標対策量で行い、必要に応じ見直しを検討している。

稲垣 雅弘 議員

依佐美送信所記念館及び送信所関連遺産の今後は!!
—記録を残していく、魅力ある依佐美送信所記念館に—

問 依佐美送信所記念館のボランティア活動についてどのよう

答 依佐美送信所記念館は、学術界や地元市民から産業遺産としての保存を希望する活動が盛り上がり、平成19年4月に開館した。地元市民の活動が依佐美送信所記念館ガイドボランティアの会の発足につながり、同年8月には、展示されている高周波発電機が一般社団法人日本機械学会から機械遺産の認定を受けたことをはじめ、送信装置一式が重要科学技術史料に登録された。また平成20年には、依佐美送信所が日本で9例目となるIEEEマイルストーンに認定された。ガイドボランティア

問 依佐美送信所記念館及び送信所関連遺産は今後は!!

答 活動では、依佐美送信所の歴史や技術を詳細に調査し、依佐美送信所の情報発信を積極的に実施している。ガイドボランティアの会には、来館される方に対し、丁寧に御説明いただいております。これからも、市内外を問わず多くの方に依佐美送信所の技術や役割を後世に伝えていけるよう御協力をお願いしたい。

問 依佐美送信所記念館及び送信所関連遺産は今後どうしていくのか。

答 今後も依佐美送信所に関する残されている画像や資料等を基に、学芸員も調査に関わりながら、当時の記録を残していくよう努め、魅力ある依佐美送信所記念館にしていきたい。

問 依佐美送信所記念館及び送信所関連遺産は今後どうしていくのか。

答 今後も依佐美送信所に関する残されている画像や資料等を基に、学芸員も調査に関わりながら、当時の記録を残していくよう努め、魅力ある依佐美送信所記念館にしていきたい。

問 依佐美送信所記念館及び送信所関連遺産は今後どうしていくのか。

答 今後も依佐美送信所に関する残されている画像や資料等を基に、学芸員も調査に関わりながら、当時の記録を残していくよう努め、魅力ある依佐美送信所記念館にしていきたい。

問 依佐美送信所記念館及び送信所関連遺産は今後どうしていくのか。

答 今後も依佐美送信所に関する残されている画像や資料等を基に、学芸員も調査に関わりながら、当時の記録を残していくよう努め、魅力ある依佐美送信所記念館にしていきたい。

問 依佐美送信所記念館及び送信所関連遺産は今後どうしていくのか。

答 今後も依佐美送信所に関する残されている画像や資料等を基に、学芸員も調査に関わりながら、当時の記録を残していくよう努め、魅力ある依佐美送信所記念館にしていきたい。

問 依佐美送信所記念館及び送信所関連遺産は今後どうしていくのか。

答 今後も依佐美送信所に関する残されている画像や資料等を基に、学芸員も調査に関わりながら、当時の記録を残していくよう努め、魅力ある依佐美送信所記念館にしていきたい。



現在、5年確率降雨に対応する整備が行われている準用河川草野川

新海 真規 議員

「書かない窓口」の導入により、市民の利便性の向上を!!
—関係部署と連携して、研究を進めている—

問 書かない窓口が全国的に急速に増加しているがどのような事例があるのか。

答 マイナンバーカードを利用し、申請書や届出書を自動作成する方法や事前に自宅でインターネットから手続をして、来庁時に二次元コードを提示することで申請書が自動作成される事例などがある。市民の方の記入に係る負担が軽減される反

問 国による法的な整備が望ましいと考えるため、国や県の動向等を注視しつつ人権が尊重されるまちづくりに努める。

進捗管理の方法は。

問 依佐美送信所記念館及び送信所関連遺産は今後は!!

答 活動では、依佐美送信所の歴史や技術を詳細に調査し、依佐美送信所の情報発信を積極的に実施している。ガイドボランティアの会には、来館される方に対し、丁寧に御説明いただいております。これからも、市内外を問わず多くの方に依佐美送信所の技術や役割を後世に伝えていけるよう御協力をお願いしたい。

問 依佐美送信所記念館及び送信所関連遺産は今後どうしていくのか。

答 今後も依佐美送信所に関する残されている画像や資料等を基に、学芸員も調査に関わりながら、当時の記録を残していくよう努め、魅力ある依佐美送信所記念館にしていきたい。

問 依佐美送信所記念館及び送信所関連遺産は今後どうしていくのか。

答 今後も依佐美送信所に関する残されている画像や資料等を基に、学芸員も調査に関わりながら、当時の記録を残していくよう努め、魅力ある依佐美送信所記念館にしていきたい。

問 依佐美送信所記念館及び送信所関連遺産は今後どうしていくのか。

答 今後も依佐美送信所に関する残されている画像や資料等を基に、学芸員も調査に関わりながら、当時の記録を残していくよう努め、魅力ある依佐美送信所記念館にしていきたい。

問 依佐美送信所記念館及び送信所関連遺産は今後どうしていくのか。

答 今後も依佐美送信所に関する残されている画像や資料等を基に、学芸員も調査に関わりながら、当時の記録を残していくよう努め、魅力ある依佐美送信所記念館にしていきたい。

問 依佐美送信所記念館及び送信所関連遺産は今後どうしていくのか。

答 今後も依佐美送信所に関する残されている画像や資料等を基に、学芸員も調査に関わりながら、当時の記録を残していくよう努め、魅力ある依佐美送信所記念館にしていきたい。

問 依佐美送信所記念館及び送信所関連遺産は今後どうしていくのか。

答 今後も依佐美送信所に関する残されている画像や資料等を基に、学芸員も調査に関わりながら、当時の記録を残していくよう努め、魅力ある依佐美送信所記念館にしていきたい。

問 依佐美送信所記念館及び送信所関連遺産は今後どうしていくのか。

答 今後も依佐美送信所に関する残されている画像や資料等を基に、学芸員も調査に関わりながら、当時の記録を残していくよう努め、魅力ある依佐美送信所記念館にしていきたい。

佐原 充恭 議員

次世代自動車購入費補助制度のさらなる拡充を!!
—販売方法の多様化に対応した補助制度を検討する—

問 刈谷市が独自に実施している次世代自動車購入費補助制度は、個人用も事業用もリースは対象外となっているが理由は。

答 リースやサブスクリプションは、車両の仕様や利用権を得るサービスの一つであると考えられているため、現在は補助対象としていない。

問 次世代自動車のさらなる普及のためには、リースやサブスクリプションにも対応した補

助制度に拡充すべきと考えるが、他市の事例も含め市の見解は。

答 県内では、名古屋、豊橋市及び豊田市がリース等に対する補助を実施していることを把握している。今後、次世代自動車の普及に向け、販売方法の多様化も進んでくるものと考えられるため、他市の状況等も参考にしながら、市民ニーズに対応した補助制度を検討していく。

成に向け、公用車の脱炭素化をどのような考えに基づき進めていくのか。

答 本市では、刈谷市環境都市アクションプランにおいて、2030年度に向けてエコカーの普及や自動車を適切に利用す

蜂須賀 信明 議員

小中学校における交通安全教育の推進を!!

—学校集会などで安全指導や交通安全教室を実施している—

問 通学路における交通安全を確保するため、警察、教育委員会及び学校等が連携し、定期的な点検が実施されている。この点検における市内小学校区内の危険な通学路は、何か所存在するのか。

答 対策が必要であると判断し、県へ報告した通学路は35か所である。

問 危険であると判断された35か所の通学路の対策内容は。

答 グリーンベルト、外側線、カラー舗装などの路面の標示に関するものや側溝蓋補修、カーブミラーの設置などである。

問 小中学校の教育活動を通して、交通安全教育はどのように実施されているのか。

城内 志津 議員

地域猫活動補助制度の見直しと補助額の拡充を!!

—今後の状況を見ながら、実績を踏まえて考えていきたい—

問 地域猫補助制度の効果はどのようか。

答 地域猫活動を行う団体が増え、適正な不妊・去勢手術が行われ、野良猫の抑制が図られているものと考えている。

問 一方で、どのような課題があると考えているか。

答 猫嫌いな方やアレルギーの方がいるということで、地域猫活動の餌やり行為に苦情が寄せられていることなども聞いています。地域の問題として理解し

ることによるCO₂削減に向けた取組の一つとして、公用車のエコカー導入を率先して行うことを位置づけている。公用車を更新する際には、社会の動向を注視しながら優先的にエコカーへの更新を行っていく。

(主な答弁者・・・教育部長)

答 小学校では、学校集会や学級活動の時間などを中心に安全指導を実施している。また、交通安全教室を毎年開催し、交通安全教育指導員が1年生を中心に安全な歩き方について、4年生を対象に自転車の乗り方について指導をしている。また、長期休業を迎える前には、交通安全についてまとめたプリントを配付することや、終業式などで教員が交通安全に関する講話を行うことで児童の事故を未然に防げるよう努めている。また、中学校では、生徒主体の活動として、交通安全委員が交通立ち番を行い、生徒同士で交通安全意識の向上を図っている学校もある。

問 障害のある子供のいる家族が相談できる場所をつくることとが大切だと思うが、相談等はどのように行われているのか。

答 小中学校では、特別支援教育コーディネーターを中心に

問 障害のある子供のいる家族が相談できる場所をつくることとが大切だと思うが、相談等はどのように行われているのか。

答 障害のある子供のいる家族が相談できる場所をつくることとが大切だと思うが、相談等はどのように行われているのか。

問 障害のある子供のいる家族が相談できる場所をつくることとが大切だと思うが、相談等はどのように行われているのか。

答 障害のある子供のいる家族が相談できる場所をつくることとが大切だと思うが、相談等はどのように行われているのか。

問 障害のある子供のいる家族が相談できる場所をつくることとが大切だと思うが、相談等はどのように行われているのか。

答 障害のある子供のいる家族が相談できる場所をつくることとが大切だと思うが、相談等はどのように行われているのか。

問 障害のある子供のいる家族が相談できる場所をつくることとが大切だと思うが、相談等はどのように行われているのか。

度から327件も減少している。令和3年度の猫の死体回収の委託件数は、最も多い平成27年度から143件も減少している。団体の存在があるからだ。制度の見直しと補助額の拡充をしなければならぬと考えている。

上田 昌哉 議員

特性の有無に関わらず子供たちの良い面を伸ばす対応を!!

—全教員が子供たち一人一人に応じた指導や対応に努めていく—

問 子供の数は減少しているのに、障害のある子供が増えているように思うが、小中学校の特別支援学級に通う児童生徒の過去5年の人数は。

答 各年度5月1日時点で、2011年は178人、2012年は201人、2013年は252人である。

問 見た目では分かりづらいグレーゾーンの児童生徒が増えていると感じるが、特別支援学級の児童生徒数が増えている要因をどのように考えているか。

答 障害について広く認知されるようになり、個別の支援を必要とすることに對する保護者の理解が深まったことが考えられる。

問 障害のある子供のいる家族が相談できる場所をつくることとが大切だと思うが、相談等はどのように行われているのか。

答 障害のある子供のいる家族が相談できる場所をつくることとが大切だと思うが、相談等はどのように行われているのか。

問 障害のある子供のいる家族が相談できる場所をつくることとが大切だと思うが、相談等はどのように行われているのか。

答 障害のある子供のいる家族が相談できる場所をつくることとが大切だと思うが、相談等はどのように行われているのか。

問 障害のある子供のいる家族が相談できる場所をつくることとが大切だと思うが、相談等はどのように行われているのか。

答 障害のある子供のいる家族が相談できる場所をつくることとが大切だと思うが、相談等はどのように行われているのか。

問 障害のある子供のいる家族が相談できる場所をつくることとが大切だと思うが、相談等はどのように行われているのか。

(主な答弁者・・・教育部長)

答 障害のある子供のいる家族が相談できる場所をつくることとが大切だと思うが、相談等はどのように行われているのか。

問 障害のある子供のいる家族が相談できる場所をつくることとが大切だと思うが、相談等はどのように行われているのか。

答 障害のある子供のいる家族が相談できる場所をつくることとが大切だと思うが、相談等はどのように行われているのか。

問 障害のある子供のいる家族が相談できる場所をつくることとが大切だと思うが、相談等はどのように行われているのか。

答 障害のある子供のいる家族が相談できる場所をつくることとが大切だと思うが、相談等はどのように行われているのか。

問 障害のある子供のいる家族が相談できる場所をつくることとが大切だと思うが、相談等はどのように行われているのか。

答 障害のある子供のいる家族が相談できる場所をつくることとが大切だと思うが、相談等はどのように行われているのか。

問 障害のある子供のいる家族が相談できる場所をつくることとが大切だと思うが、相談等はどのように行われているのか。

答 障害のある子供のいる家族が相談できる場所をつくることとが大切だと思うが、相談等はどのように行われているのか。

問 障害のある子供のいる家族が相談できる場所をつくることとが大切だと思うが、相談等はどのように行われているのか。

答 障害のある子供のいる家族が相談できる場所をつくることとが大切だと思うが、相談等はどのように行われているのか。



一人一人の実態に応じた教育を

わいが創出されることなどを確認できた。

谷口 睦生 議員

ヤングケアラーの早期把握と関係機関との連携で支援の推進を!!

—関係機関と情報共有を図り、早期発見に努め支援につなげる—

問 小中学校の現場において、ヤングケアラーをどのように把握しているか。

答 日々の健康観察、子供との対話、毎日の生活日記、学期ごとに1回行う生活アンケート、子供との個別面談などから、ヤングケアラーに限らず子供たちの心の変化などを把握している。

問 ヤングケアラーを把握した場合の学校の対処方法は。

答 子供たちの様々な心配事に気付いた際には、学年職員や学校全体で話し合い、状況を共有し、必要であれば、適切な支援が受けられるよう、市の関係部署や児童相談センターなどの関係機関と連携を図っている。

問 高齢福祉や児童福祉分野におけるヤングケアラーの支援の取組は。

答 介護認定調査などの際に、対象者の主たる介護者や家族の状況を確認し、必要に応じて関係機関へ情報提供をしている。

問 高齢福祉や児童福祉分野におけるヤングケアラーの支援の取組は。

答 介護認定調査などの際に、対象者の主たる介護者や家族の状況を確認し、必要に応じて関係機関へ情報提供をしている。

問 高齢福祉や児童福祉分野におけるヤングケアラーの支援の取組は。

答 介護認定調査などの際に、対象者の主たる介護者や家族の状況を確認し、必要に応じて関係機関へ情報提供をしている。



公園を活用したマルシェの開催等の環境整備を



ヤングケアラーの早期発見と関係機関との速やかな連携を

4月臨時会開催

刈谷市税条例等の一部改正についてを可決

4月臨時会は4月12日に招集され、会期を1日間とし同日閉会しました。

議案について、反対意見がありませんでしたが、採決の結果、原案のとおり可決しました。

条例議案

■刈谷市税条例等の一部改正について

問 固定資産税の負担調整措置について、令和4年度は、商業地等には適用されるが、住宅地には適用されないとのことである。令和3年度は商業地等だけでなく、住宅地にも適用されていたのになぜか。商業地等には、令和4年度分の固定資産税の課税標準額を、前年度分の課税標準額に令和4年度の評価額の2.5%の額を加算した額とする。商業事業者等が新型コロナウイルス感染症の影響で大変なのは理解しているが、住宅地が除外され、特定の人たちだけが減税になるのは税金の公平性という観点から間違っている。令和2年度までの地価の上昇を受け、新型コロナウイルス感染症拡大後の地価の下落を考慮しても、固定資産税が上昇する地点が多いことから、経済対策による各種支援策の効果を増やすことがないよう、事業者の経済活動と経済回復を後押しするため、経済活動の基盤となる土地に係る税負担増を緩和する措置が講じられたと聞いている。

いると考えるがどうか。

答 各自治体では、財源が厳しい中で、新型コロナウイルス感染症防止対策や地域経済の立て直しのため、各種事業に懸命に取り組んでいるところである。負担調整措置は、評価額が急激に上昇した場合でも税額の上昇が緩やかになることを目的とした税負担の調整措置であり、今回の措置は新型コロナウイルス感染症により社会経済活動などが大きく変化したことを踏まえ、コロナ禍からの経済回復のために税負担の激変緩和の観点からの措置であると認識をしている。

議決結果一覧表

(※)：賛否が分かれたもの

- ・刈谷市税条例等の一部改正について (※) 可決
- ・刈谷市都市計画税条例の一部改正について (※) 可決

4月臨時会における新型コロナウイルス感染症への主な対策

- 傍聴者の間隔を空ける
- 議員、理事者はマスクを着用
- 議場等の各席に間仕切り設置

4月臨時会提出議案の賛否 (○：賛成 ×：反対)

議案名及び議決結果	可決	自民クラブ					市民クラブ					公明クラブ		清風クラブ		所属議員の無議		日本共産党		いのちの会		無所属		議長		副議長		
		加藤 幹樹	揚張 慎一	葛原 祐季	近藤 澄男	渡邊 妙美	清水 俊安	外山 敏一	山崎 高晴	深谷 英貴	中嶋 祥元	佐原 充恭	伊藤 幸弘	黒川 智明	鈴木 浩二	谷口 睦生	松永 寿	白土美恵子	上田 昌哉	星野 雅春	鈴木 絹男	蜂須賀信明	牛田 清博	山本シモ子	城内 志津	稲垣 雅弘	加藤 廣行	鈴木 正人
刈谷市税条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
刈谷市都市計画税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長のため、採決には加わらない

議会トピックス

■タブレット端末及びペーパーレス会議システムを導入しました!

刈谷市議会では、平成30年に議会ICT化研究会を設置し、ペーパーレス化、議会の情報共有化、議員の資質向上、事務の効率化を図ることを目的として、タブレット端末を導入することを決定し、導入する機器や使用基準などについて協議を重ねてきました。

そして、令和4年6月議会から、タブレット端末で議会資料を閲覧できるようにし、本会議や委員会などで使用する運用を開始しました。

コスト削減や環境への配慮、情報伝達の迅速化など議会におけるICTの活用推進、デジタル化への対応は重要な課題であると認識しています。今後もタブレット端末を活用して議会資料のデジタル化を進めるとともに、災害情報をはじめ、様々な情報の効率的な収集・共有を図り、活発な議会活動につなげてまいりたいと考えています。



議会のICT化を推進します

6月定例会における新型コロナウイルス感染症への主な対策

- 傍聴者の間隔を空ける
- 議員、理事者はマスクを着用
- 議場等の各席に間仕切り設置
- 一般質問の際、密接を避けるため議場に入る議員の数を減らし、別室でモニター視聴を実施

公職選挙法で市議会議員は寄附や暑中見舞いなどを出すことが禁止されています。禁止されている寄附の主なものは左記のとおりです。



編集後記

〜かけはし〜

◆刈谷市における新型コロナウイルス感染者数は、2月の約3,000人をピークに3月の約2,100人、4月の約1,400人、5月の約800人と感染は収まらず、まだまだ予断を許さない状況です。あわせて、気温の上昇も懸念される中、コロナ対策に加え、熱中症対策も行わなければなりません。感染者数を年代別で見ると、20代の方が多いため、積極的なワクチン接種に御協力をお願いします。また、ウィズコロナの中、市内におけるイベント数も徐々に増えています。イベントを楽しんでいただくとともに、人々が密集する場所ではソーシャルディスタンスの確保をよろしく願います。

◆6月定例会では19人の議員が登壇しました。物価上昇により市民の皆さんの暮らしの安定が懸念される中、各議員から市民生活を守るための質問が数多くありました。今後も刈谷市議会「刈谷市政へ「刈谷市民の声」」をお届けします。

◆現在、刈谷市では未来へ向けてスマートシティの取組を推進しています。最新の技術を活用して、環境に優しく住みやすい、安心・安全で持続可能なまちを目指しています。

◆本号で、今期の議会広報委員会メンバーでの市議会だよりの編集は最後となりますが、次期の広報委員会でも「市民に開かれた議会」「市民に信頼される議会」を目指し、市議会の情報を、市議会だよりを通じて皆様へお届けいたします。

(議会広報委員会)